

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護保険料普通徴収事業			会計	款	項目	大	小
				08	01	02	01	02
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護保険の2号被保険者	意図	主たる財源である保険料収入を確保し、健全性を保持する。
事業内容	介護保険に加入することにより、被保険者の前年度所得に応じて保険料を賦課し、それに基づき、被保険者から保険料を徴収して円滑な財政運営を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	収納率は徐々に向上しているが、景気の低迷などで収納業務自体が難しくなっており、滞納処分の強化が必要である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	保険料収納率（繰越分）	38.64	37.88	43.08	%	↑↑↑	収入済額／調定額
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		10,820,125	9,867,402	9,716,595				
事業費(b)(円)		2,616,648	2,396,082	2,440,849				
うち一般財源		2,616,648	2,396,082	2,440,849				
職員給与費(c)(円)		8,203,477	7,471,320	7,275,746				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.53	0.53	0.53				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	収納率向上に向けて、滞納管理システムのより一層の整備を図り、事務の効率化を高め、滞納整理を強化する。	③取組の課題	新しくなった滞納管理システムの改修及び整備。
②今年度(H29)に実施した取組	滞納管理システムを平成30年度に変更するべく計画を立て、移行することとなった。	④今後(H30以降)の改善計画	滞納管理システムの設置者であるDSKと連絡を密にし、システムの改修及び整備を行う。それにより、収納計画を策定し、事務及び滞納整理の効率化を図る。